

式辞

平成三十年四月九日、小学校入学。元号が代わり、コロナを乗り越え、三月二十二日、ドラマ・小学校編の最終回を迎え、たくさんの人や出来事の縁により、様々な可能性を蓄え伸ばし、今日ここに中学校の入学を迎えた百二十名の皆さん、入学おめでとうございます。

近藤沼公園を悠々と泳ぐたくさんの鯉のぼりは、小学校という川を泳ぎ切り、中学校というさらには大きく深い川で、これから力強くたくましく心身ともに豊かに成長していく新入生たちの姿と重なります。館林市の桜もちょうど満開となり、新入生の入学をお祝いするこの佳日に、館林市教育委員会教育委員・堀口哲哉様、館林市議会議員の皆様、本小学校運営協議会委員の皆様のご臨席のもと、伝統ある館林市立第三中学校の入学式が挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

今日から中学校という新しいステージへ立ち、有意義な三年間となるように、校長として目指してほしい言葉を送ります。それは、「笑顔・前向き・感謝・尊重」です。

笑顔、それは優しさであり心の余裕です。本校校歌二番にも「微笑み交わす師友よ」とうたっています。前向き、それは困難を乗り越える力です。感謝、それは思いやりでありおかげさまでと存在だということ。尊重、それは自分も他者も大切なものです。現代、現状維持は後退に等しいと見え、進化する例え、その時は失敗したとしても、前に進むという意思と意欲と意気込みがあれば、

必ず道は開き、成功というゴールが見えてくるはずです。君たちがこれから挑む中学校という新しい世界で、笑顔で前向きに、関わる人に感謝し互いの存在を尊重していけば、日々成長し、皆さんなりの新しい景色に到着できると確信しています。

保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。本校では、一人一人を大切にしました生徒主体の教育を推進していきます。私も待たずにあつたように、子どもたちにも様々な試練が待ち受けています。その試練に立ち向かう時、子ども達の幸せを願う愛情と応援が、大きな支えとなるに違いありません。皆様も私たち職員も子どもたちよきサポーターであるいは応援団として手をとり合い、子どもたちをたくましく育てて参りました。

結びに、笑顔・前向き・感謝・尊重の言葉を胸に、ドラマ・中学校編を充実させ、多くの人に感動と勇気と元気を与えてください。また、本校の職員は、君たちの期待や相談に応えてくれる、熱意とアイディア溢れる人ばかりです。安心して、ください。それでは、百二十名の皆さんの明るい未来へ向けて、幸多かれと応援するとともに、これから三年間、安全・安心に学ぶことができよう、ご臨席賜りました皆様の温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和六年四月八日
館林市立第三中学校 第十九代校長 橋本文明